

いずみざき

No.41

令和元年8月1日発行

議会だより



2年生 プールの授業

輝く未来を子ども達へ



4年生 歯磨き教室



いずみちゃん

目次

- 表紙……………泉崎第一小学校
- 2～3ページ……………6月議会定例会の中身は？
- 4～9ページ……………6名の議員が村政を問う！
- 10ページ……………議会インフォメーション・編集後記

泉崎村HPアドレス：<http://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

報告 会期 6月6日(木)～6月14日(金)



6月6日(木)～14日(金)までの9日間の日程で令和元年第2回泉崎村議会定例会を開催しました。

報告3件、条例改正、補正予算、人事案件等の議案8件、計11件の提出がありました。

一般質問においては6名の議員が村政に対する質問を行いました。

事業名

翌年度繰越額

報告第2号

○プレミアム付商品券事業

70万円

○泉崎・南東北診療所冷暖房設備改修事業

1,965万6千円 の2事業を繰り越す

一般会計補正予算

4,591万6千円を増加し、予算総額**42億9,294万3千円**へ

○主な歳入

国庫支出金	229万7千円
県支出金	526万2千円
財産売却収入	189万円
前年度繰越金	3,644万6千円

○主な歳出

光ファイバ移設工事費	98万2千円
集会施設等改善補助金 (太田川公民館)	161万2千円
クロスカントリーコース整備事業	400万円



人事案件

氏名 鈴木 一正
生年月日 昭和33年8月1日
住所 東白川郡矢祭町大字中石井
任期 令和元年6月24日～
令和4年6月23日まで3年間



6月24日より泉崎村教育長として、村教育行政に携わらせていただくことになりました。

現在、そして今後の未来をより豊かに生きるために必要な力を育むことが大切です。本村の教育は行政機関はもとより、「ひと・自然・歴史」を生かして村内の全ての皆様とともに「手づくりの教育」をめざしています。微力ではございますが、誠心誠意取り組みたいと思います。村民の皆様のご理解とご鞭撻を宜しくお願いいたします。

議案第29号 教育長
鈴木一正氏に同意

令和元年第2回6月定例会

(／：議長は採決に加わりません 欠：欠席)

議案件名	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
	可・否	飛知和良子	廣瀬英一	星一	中野目正治	小林勝衛	田崎能信	岡部英夫	白石正雄	鈴木清美	鈴木盛利
報告第1号 専決処分の承認を求めるとについて(泉崎村税条例の一部を改正する条例) 地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令等の一部を改正する政令等が平成31年3月29日に公布され、4月1日から施行されることに伴い、平成31年度以降の村税賦課に対応するため専決処分を行った報告	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
報告第2号 平成30年度泉崎村繰越明許費繰越計算書	報告受理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
報告第3号 平成30年度土地開発公社の経営状況に係る書類提出の件 泉崎村が出資している土地開発公社の経営状況について報告	報告受理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第22号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 通勤手当の上限を59,900円へ引き上げる	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第23号 泉崎村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、職員の正規の勤務時間外の勤務について所要の改正を行う	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第24号 泉崎村行政不服審査委員会条例の一部を改正する条例 役場組織のグループを係に改編すること、グループ長職の廃止に伴い所要の改正を行う	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第25号 泉崎村国民健康保険税条例の一部を改正する条例 国民健康保険法施行令の改正により賦課限度額、軽減判定の所得引上げを行う改正により所要の改正を行う	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第26号 泉崎村介護保険条例の一部を改正する条例 消費税の引き上げに合わせ介護保険法施行令が改正され、第1所得段階から第3所得段階に係る保健基準額に対する割合を軽減するため	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第27号 令和元年度泉崎村一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第28号 令和元年度泉崎村介護保険特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ、425万6千円を減額し、予算総額を5億4,720万4千円とする	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第29号 泉崎村教育委員会教育長の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
発議第2号 令和2年度及び復興・創生期間後も国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
発議第3号 教職員の長時間過密労働の解消に向けた意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／



広報いすみざき



村議会



申請書
ダウンロード



泉崎村公式
Facebook



便利なサービス
Convenient Services



閲覧ランキング
View Rankings

★議会の録画映像を配信！会議録もご覧ください!!

アクセス件数 (平成28年6月議会映像から視聴可能)

- ・ 議会会議録
延べ件数 5,244件 (月平均 61.3件)
- ・ 議会映像中継
延べ件数 5,479件 (月平均 64.6件)



～村HP「村議会」から確認ください～

教育長について

鈴木 空席の教育長について、また、教育長の職務はどのようなものか。

教育課長 教育長不在の場合あらかじめ指定した職務代理者が教育長の職務を行うこととなっております。教育委員会の会務を総理し、民意を代表する首長との連携強化が重要な責務であります。

鈴木 教育長をしつかり置いておくべきと思う。今回、人事案件に入っているので任期を最後まで勤めていたいただきたいと思えます。

泉崎の住所について

鈴木 泉崎の住所は大変に



鈴木清美議員

長すぎるので短くする方法があるのか。現在の泉崎村は合併を3回行われて長い住所になっていると思われる。明治9年に踏瀬村と踏瀬新田村と十軒新田村と踏瀬村になり、北平山村と北平山新田村で北平山村になりました。明治22年に泉崎村、太田川村、踏瀬村で川崎村となり、関和久村と北平山村で関平村になり、昭和29年の合併で泉崎村が誕生したのです。その当時の川崎地区人口3千800人位、関平地区人口が3千人位です。住所変更の経費はどの位かかるのか。

総務課長 住所は住民の財産の権利義務を表す重要なものです。費用については、システム改修も含め一千万単位の費用が発生すると思えます。

鈴木 経費のかからない方法があれば考えておくべきではと考えます。合併から65年経過しております。川崎地区、関平地区と何等かの形で区別する考えをもつには無く、若い子ども達には泉崎村は一つなんだという考えを持ってもらいたい。

いずみキッチンについて

鈴木 いずみキッチン店を閉めて1年以上になるが公募の状況はどうなのか。施設はどのように管理しているのか。私は以前一般質問で泉崎観光、カントリーヴィレッジと何らかの方法はないのかと相談してはどうかと提案したが、実際になさ

事業課長 応募者がいない状態が現在まで続いている。泉崎観光、カントリーヴィレッジと協議、調整は現在のところ行っていません。

総務課長 建物等が傷まないよう定期的に清掃を行い、また、建物周辺は草刈り、除草剤散布を行っています。

鈴木 私たちも施設の有効について考えているので、今後少しでも協力してください。中学校は下校時間を過ぎても敷地内に子どもたちが居られるのか。校則にあるのか。

教育課長 生徒指導全体計画がありその中に放課後速

やかに下校することになっています。この計画は子ども達の安全を考慮して細かい決まり事が書かれています。

鈴木 あの施設を休憩所、待機所として利用する方法はないかと保護者の方々から相談がありました。下校の際に雨が降った時に自動販売機に屋根がありますから何人かが雨宿りをしているのです。本来自分で学校に通うのが当たり前ですが、親が車で送迎し乗降場所として利用している方が大変多いんです。また、送迎が必要な生徒もいるので安全の為に施設を有効利用できないのか。中学校、保護者、教育委員会、関係者と話し合いを持って協議してもらうことはできないか。村長にお伺いしたい。

村長 鈴木議員と色々お会いして今の実情の説明聞いて、学校帰りの時間帯位に意識して見て見ると随分迎えに来る保護者の方が沢山いるんだと実感しています。ただ、オープンする際予算をつけていただいで改修しております。まだまだ活用方法はあるかなと思っております。もう一度見直してオー

プンを前提で併用できれば私は理想だと思っています。下校の時間帯に活用し仕事に支障ない方法がないかと本気で考えてみたいと思っております。

鈴木 昼間の11時から3時頃までの4時間だけ営業し、そのあとは子ども達の休憩所と考える。学校側と協力して施設を利用するよう何か具体的に動いていたけるか。

村長 今までは施設管理を総務課、公募を事業課などその辺が曖昧だった感じがする。今後はスピード感を持ち、今までのことを反省材料として、窓口を一本化に調整して考えたいと思えます。

鈴木 職員を動かすには一本化して指示していただきたい。郡山の高校も送迎の場所として利用する大変に利用価値が大きい場所なので。保護者の方に安心して子ども達を待たせられる、そのような場所として利用していただきたい。

村の桜の木について

田崎 私は桜について色々考えていたわけでありまして、泉崎村の桜ウォークの行事ですが、この泉崎村の桜ウォークの行事にとどまらず、全国的に誇れる桜の里泉崎村を標榜したいと思っております。

桜ウォークを現在行っておりますが、これだって、昨日、今日と、ちょっとやそつとで、できるような話ではないわけでありまして、これは30年も40年もの年月がかかって現在、実施されているわけであるから、桜の里泉崎村を標榜するとしても50年100年の年月がかかることになるのかと思えるわけでございます。



田崎能信議員



後世に桜の里泉崎を造つてふるりの景観を遺産として残し提供できればというふうな思っているわけでありまして。奈良県吉野山の桜は世界遺産として登録されておりまして。その本数は3万本と言われております。鳥峠（木ノ内山）に7千本植えれば村の桜の木は1万本になり吉野山の3万本の密度に匹敵する事になる。令和元年に当たり、泉崎村の遺産として、この鳥峠に桜の木を植え、ふるり創生の計画を考えたらどうかというこの計画提案します

が、村長の見解、感想をお聞かせ願えればと思っております。村長 桜の植栽ということなんだろうと、桜並木の植栽なのかなというふうにはちょっと感じていたんですが。全体としての桜を中心にした植林、植栽ということなんだろうと思っております。今のところ、そういった計画は持ち合わせておりませんが、鳥峠については色々、検討した時期はあります。いずれにしても、そういった要請があれば、これは議

奨学金について

会の理解を得て、それと予算の確保も必要になります。そんな中で、これから意見を拝聴しながら考えていかなければならないというふうには思っております。

田崎 私なりに、国の給付型の制度をちょっと見たんですけれども、非常に難しいという複雑な内容であります。住民税非課税の世帯でみますと、入学金28万円、授業料54万円、奨学金35万円で117万円を給付するとなっております。

前の議会での答弁で他の制度との併用はできないと言っていましたけれども、今回、国では国の制度を利用しても他の制度と併用は可能ですよというような内容になっております。

また、もう一つの面でいえば世帯の年収が380万円の場合でも国は考えているわけでありまして。その内容については詳細については、わかりませんが、この国の

制度と併用して村独自で上積した給付型をできないのかということでありまして。

教育課長 まず、国の制度でございますが、基本的に住民税非課税世帯または、それに準じる世帯の学生が対象という形になっております。本村の育英基金（奨学金）は、原則給付型というところをなくして、今の奨学金制度を維持していくということになれば財政的に給付型を実施することは難しいというふうに考えております。

田崎 いわゆる泉崎村の条例に従えば併用はできないということだと思えます。国は併用はいいですよと、こういう内容のことになっているわけなので、今後、そういったことを研究してもらって、できる範囲で給付できるよう要請して質問を終わります。

はにわの里運営改善

白石 はにわの里の運営、改善できるのか。運営方針を変える必要があると考える。野菜、果物などの店頭販売をやめ、泉崎村の産業振興の拠点として、また研究施設として、専門的な農学博士などの人材を村職員に採用し、永続的に村の振興に努力してもらおう必要がある。そこに村民を結集し、生産組織や加工組織を作り、地域活性化のセンターとして活用していく以外に村民の納得は得られないのではないか。村長が方向性をしっかりと示すべき。



白石正雄 議員

事業課長 加工品開発に關し、昨年11月はにわの里の

敷地内にある木造平屋建ての建物、村に寄附されたものを加工施設とし、商品開発及び地産地消を目指していくという目標を掲げている。

今年度、マーケットインの思考に基づく商品開発、販売戦略の構築等を支援する、福島地域産業六次化イノベーター派遣事業を活用する予定。有識者の意見を参考に六次化振興に取り組んでいく。

国保税村民負担

白石 国保税の村民負担は、ほかの社会保険と比べて非常に高い。昨年保険者が福島県にかわり、資産割の算定がなくなり若干の村民負担の引き下げになった。しかし国保税がほかの保険に比べて安くなったというわけではない。

標準保険料率が示されている中で、今年度の国保税村民負担はどのようになるのか。

総務課長 平成31年度国民健康保険税の課税は、県が示した標準税率が平成30年

度を上回っていた。泉崎村は負担を抑えるため平成30年度の税率を採用した。

近隣市町村では、白河市、矢吹町、西郷村、泉崎村が平成30年度の税率を採用し、中島村は、県が示した平成31年度の標準税率を採用した状況。泉崎村の村民負担はほぼ前年同様。

跨線橋自由通路建設

白石 駅の跨線橋建設計画の進捗状況、資料館の駅舎としての活用、エレベーターの設置などについて伺う。

総務課長 建設計画の進捗は、本年6月中旬にJR東日本と実施設計に係る協定締結を行い、年度内に実施設計が完了する見込み。令和2年度に跨線橋東西自由通路工事に着手し、令和3年8月ごろを竣工予定としている。

エレベーターの設置は、活性化協議会でJRに要望することで実現できればと考えている。

イノシシ対策

白石 最近、村内の都橋住宅地の中にイノシシが出没して大騒ぎになった。駆除隊員も高齢化をして後継者不足と経済的負担で大変だという、捕獲支援の充実はどうするのか。

住民福祉課長 イノシシなど有害鳥獣の対策は、狩猟免許取得者の団体、有害鳥獣捕獲隊に依頼して、年間を通じて捕獲や駆除をお願いしている。近年の実績では、平成29年度は全体で36頭、平成30年度は47頭のイノシシを捕獲した。太田川や踏瀬が圧倒的に多く、今年度は烏峠周辺の富久保、八丸、都橋山でも、初めて目撃例が出て、わなの設置を行っている。

捕獲する場合は、原則、資格者が行ない、毎年捕獲隊への助成を行っている。村から35万円、JAからは3万5千円の助成が出ている。捕獲には捕獲の知識や技能が必要であり、今後、捕獲隊と協議しながら、おりやわなの充実、隊員の増員のための育成も検討していく。おりやわななどは村

が購入し捕獲隊に貸し出ししている。隊員は現在6名。

事業課長 事業課産業係では、電気柵の資材購入助成事業を平成30年度より実施。5万円を上限に費用の3分の1。昨年度の実績は、5件、17万5千円。イノシシの生態や対策を掲載したチラシを年2回回覧し、周知を図っている。

補聴器の補助

白石 最近の医学研究では、聴力低下は70代で約半数の方にあらわれると言われている。放置すると、周囲との円滑なコミュニケーションがとれず、認知症の原因にもなる。泉崎村も高齢者に対する補聴器の補助制度創設すべきでないか。

住民福祉課長 市町村単独事業として、補聴器購入補助を行っているところは近隣では現在のところはない。補聴器を必要とする場合は、一度、障害認定を考慮してほしい。今後は、近隣町村の動向や全国の例などを見据えながら、高齢化対策の一つとして検討して行きたい。

泉崎村教育長不在について

岡部 まず教育長の不在についてですが、前任者の教育長が、卒業式、入学式を間近に控えた2月に急に辞表を出して辞めた理由についてお聞かせ願います。

教育課長 前教育長、杉田久美子氏の任期は、本年4月20日でありましたが平成31年2月12日付で一身上の都合により退職したい旨の届け出がありました。

村当局は、慰留に努めたのですが、本人の意志が強く、退職届を受領し正式に退職となりました。



岡部 英夫 議員

辞めた理由については、親族が交通事故を起こした為、その後の処理に専念したいという理由でございました。

岡部 親族が起こした交通事故、前教育長本人の問題ではなく、親族の中というのですが、このことに対して村長が任命責任を感じて辞任を進めたのでなければ、生徒たちにとっては大事な入学式、卒業式までは、教育長としての任命を受けた以上は、それくらいの責任は果たしてほしかったと思います。

次の教育長が不在については、今議会に新しい教育長の任命案件が出ておりますので、これは取り下げて次の質問に入ります。

泉崎駅の東側開発について

岡部 泉崎駅の東側開発についてですが、事業の計画を見直すべきではないかと

出しておきました。今まで賛成しておきながら矛盾していると思われませんが宜しくお願いします。泉崎駅の開発は当時の海上村長時代に、駅の東側開発計画から

始まり、小林村長が跨線橋だけをかける東側開発という計画から現在に至っていると思いますが、現在までの事業の経過と成り行き、駅の利用者などの調査したものがあればそれと今年度組み込まれた設計費によって具体的な工事費用とか、どんな形になるかお聞かせください。

総務課長

◆泉崎駅東口開発事業計画は、昭和62年頃から構想が打ち出され平成元年に開発計画に着手しております。駅の東側25ヘクタールを開

発区域としてショッピング、リバーフロント、親水公園、住宅地と四つのエリアに分け総合的に整備する計画でした。

計画エリア内に優良水田が9.1ヘクタール含まれて

いたことから駅前地区の水田を除き住宅地の造成を先行して行いました。

駅利用の利便性、土地購入者の要望、土地販売のためセールスポイントなどにより、JR東日本と跨線橋設置に向けた協議に入り、途中延期などもありましたが、今回協議がまとまりました。

◆駅の昇降者数ですが、平成28年度の調査結果は、1日715人。内訳としまして、村内利用者が76%、村外が24%となっております。設計費用、工事費用につきましては、

◆東口整備基本設計業務、約1千590万円、東西自由通路基本設計費1千855万円、東西自由通路実施設計費、2千470万円、

◆工事費はまだ実施設計は組んでおりませんので概算で答えます。総額が6億7千600万円、村負担額が5億9千800万円となっております

す。

岡部 駅を利用する人の数が一番大事なことだと思います。少子化などによる通学生の減少、車社会による通勤者の減少、これらを考えると駅の利用者が増えることは考えられません。天王台の利用者の方々には、今走っているふれあい号をもっと利便性を考えた方法を考えれば解消できるかと思えます。

この実現に向けて工事基金を積み立ててきた村当局に、計画の完成が近い今中断ではなく、凍結という方法もあります。村長の考えをお聞きます。

村長 岡部議員も承知かと思いますが、以前は事業費が2億6、7千万、3億以下の話がありました。JR主体の設計で現在の工事費になっております。行政の継続性、天王台団地の方々の強い要望を考えると、この計画を止めるのは難しい状況だと思えます。

令和元年度の各課発注工事について伺う

廣瀬 村ホームページに情報公開されている各課の発注工事の進捗状況をお知らせください。

総務課長 令和元年度の当初予算における工事発注予定数は27件です。そのうち、発注済みが11件、未発注が16件で発注割合は40.7%です。

また、6月中に発注する予定件数は6件となっております。



廣瀬 英一 議員

発注済み工事における進捗状況は、進捗率10%が2件、20%が1件、50%が2件、80%が1件、100%が1件です。今後におきましても、早期発注、早期完了を目指し取り組んでまいりたいと考えております。

泉崎駅東口整備の計画について伺う

廣瀬 跨線橋、それからロータリー、東口広場整備計画、桙内・如信沢線道路拡幅計画の進捗状況について伺う。

総務課長 東口広場整備事業計画については、本村の土地利用計画において駅東側エリアは、駅前広場や駅前周辺を生かしたにぎわいのあるまちづくりとして基本方針に位置づけされております。駅東口整備計画においては、供用開始予定時期は、令和5年度末を目指しておりますが、駅構内東西自由通路建設工事との工事期間の兼ね合い等があり

ますので、関係機関と十分協議をしながら進めてまいりたいと考えております。

事業課長 桙内・如信沢線道路拡幅計画の進捗状況については、本年度、村道桙内・踏切線から県道泉崎石川線までの測量調査設計業務として、延長約500メートル、車道幅員6メートルを計画し、来年度以降に工事着手予定となっております。今年度計画している測量調査設計業務は、これから入札を実施し、完了は来年3月を予定しております。

この拡幅計画は泉崎駅東口整備計画に関連するもので、駅東口が整備されれば交通量が増加すると見込まれますが、現在の桙内・如信沢線の舗装幅員が3メートルと大変狭く、すれ違いが厳しい状況にあることから、これを解消するための道路拡幅計画となっております。今後、関係部署と協議をしながら進めてまいりたいと考えております。

廣瀬 東口の整備計画については、この地域をどうするか広場の周辺はどこまで農振除外がされているのか、それから、道路の周辺と隣接するところは開発させないのか、商店、店舗ができるような施策をとっていくのか、現時点でどのように考えているかお聞きしたい。

事業課長 駅東側で農振農用地区域を除外している区域は、昭和62年に、農振を除外してあります。範囲は、桙内・踏切線の道路の線路側と、天王台住宅団地寄りでは、アンダーパスにつながる道路までです。

道路の延長500メートルについては、農振農用地区域です。これにつきましては、道路用地として買収をした上で道路整備を行うので、農振農用地区域の除外については、今のところ考えてはおりません。

廣瀬 将来道路が完成し、広場ができ、この地域の活性化ということを考えた場

合には、当然、この地域をどんな地域にするかという議論が必要だと思いますがいかがですか。

村長 農振が除外されている部分を再度継続した事業計画をつくりたいです。道路周辺については第2段階で考えていけば良いと考えています。

駅周辺広場を中心にしてあの辺をいかに開発、もちろんバランスとらなくちゃいけませんけれども、その辺をしっかりと都市計画組みながらやっていく必要があるだろうと、今、再認識しております。

廣瀬 2段構えでいくという考えでよろしいですかね。とりあえず農振が外れているところの広場周辺の整備、それから道路ができて、そのアクセスがどのように利用されるかということも踏まえて、その後考えていくということ認識しましたので、質問を終わります。

六次産業館はにわの里について



飛知和 良子 議員

飛知和 オープンから1年になり、赤字補てんはどうするのかお聞かせ下さい。

3月議会の中で、近隣市町村の直売所に対する支援の状況を産業グループ長から説明がありました。説明によると西郷村、中島村、白河市、鮫川村、埴町等、市町村が運営費を支援しているが経営は厳しい状況である。はにわの里も、努力が足りない点はあるが他の市町村と同様という事ではないのですが、今後財政支援の考えはないのかお聞かせ下さい。

事業課長 はにわの里の昨年度の収支決算は赤字決算であり、現在の運営状況を改善すべく店長はじめ従業員一同、今後一層の努力、新商品の開発等を早期に実施する事は勿論であり、事務局としては、他町村と同様、農業振興、地域振興及び6次産業振興の場と位置付けて頂きまして運営に必要な最低限の財政的な支援も検討すべきではないかと考えています。

飛知和 次に3月当初予算で150万円計上しましたが使道はどうなっているのか。

事業課長 3月の当初予算の中で計上しました150万円の現状ではありますが、スイーツ及び精肉を販売する為の冷蔵庫2台の購入を検討している。夏に向け、スイーツ専用の冷蔵庫を設置し季節に合ったデザートの開発や販売、直売所の更なる魅力に繋げていきたい。精肉の冷蔵庫が壊れた状況で、生肉を販売出来ず、お客様に強い要望がある為、購入

を検討したい。予算残額は、社長である村長と協議しながら、6次化商品の開発等に有効に活用していきたい。

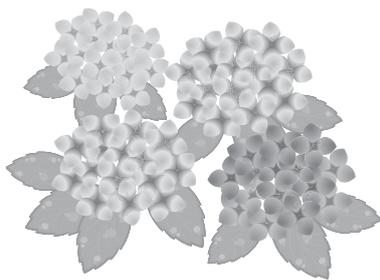
飛知和 事業課長の答弁にありましたが、軌道に乗るまでは近隣市町村同様に村として面倒見なければならぬと私は考えるが村長の見解をお伺いしたい。

村長 はにわの里も非常に厳しいものです。増資等で資金調達したいのはやまやまでありますが、応じる株主は出ないだろうと予想しております。担当課長の方から指定管理委託料の形でとれば、ありがたいが大切な税金を使うという結果になるので、簡単にはお願いするわけにはいかない。自分達で赤字にならないような経営、運営の仕方を考えなければならぬ。何とか他町村のバックアップして欲しいような金額、計画をしっかりと見極めて頂いて考えて頂ければと思っています。しかし最初から補助金ありきという事は、立場上言え

ないし、充てにした運営は考えていない。

飛知和 本当に努力しなければならぬのは当たり前ですが、先延ばししても結局赤字が膨らむ一方なので、現状をのり切る為にも早く考えて頂きたい。

村長 現場は努力をし、ミニイベント、朝市などを開くことによって、お客様に馴染んでもらいたい。特産品も含めた地域の物が少ない事、実感しております。真剣に取り組み、再度議会の皆様をお願いしたい。



給食について

飛知和 給食について過剰な完食指導はないのか。昼食にかける時間の制限などはないのか。

教育課長 学校における給食の指導については学校教育法に基づき行われている。指導にあたっては適切な栄養の摂取による健康の保持、増進を図る事、健全な食生活が営むことができる判断力を培う事、又食生活が自然の恩恵の上に成り立つものである、尚且つ食に関わる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深めることなどを目標に努めている。過剰な完食指導については、幼稚園、小中学校の給食指導においては、当番活動による責任感、食べる意欲を育む環境設定に配慮し進めている。昼食かける時間の制限については小学校で45分、50分。中学校で35分、幼稚園50分。食事の時間についても十分配慮しながら時間の確保を図っている。

*** 次期定例会の予定 ***

開会9月5日(木) / 一般質問9月10日(火)の予定

**第23回議会議長杯
グラウンド
ゴルフ大会**

○5月22日(水)

八雲グラウンドにおいて、第23回議長杯グラウンドゴルフ大会が開催されました。



成績結果

優勝 中野直枝さん

準優勝 飯田磁男さん

3位 酒井一夫さん

おめでとうございます！

**常任委員会報告
経済文教常任委員会**

○6月6日(木)

議員控室において白石正雄議員を紹介議員とした3件の請願書について審議いたしました。「ふくしま学力調査」中止の意見書提出を求める請願書においては、「学力調査の実施が児童、生徒や教職員の多忙化に拍車をかける要因になるのでは」との意見、「学力向上の面から考えると、学力調査は必要であり、児童生徒や教職員の多忙化問題とは引き離して考えるべき」との意見に分かれ委員長採決にて不採択となりました。



◎議会に届いた請願書

件名	提出者	紹介議員	審査結果
「令和2年度及び復興・創生期間後も国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志氏	白石 正雄議員	採 択
「ふくしま学力調査」中止の意見書提出を求める請願書	福島県教職員組合 西白河支部		不採択
教職員の長時間過密労働の解消に向けた意見書提出を求める請願書	支部長 藤田 真氏		採 択

編集後記

今年は選挙の多い年。周辺市町村の首長選挙や議員選挙、参議院選挙が行われ、泉崎村でももうすぐ議員選挙が行われる。11月には福島県議会議員選挙。十分な判断材料が提供されているのだろうか。泉崎村ではこの議会だよりが発行され、少なくともその判断の一役を担っている。県議会公報や国会公報などあまり見たことがない。今回の参議院選挙泉崎村の投票率は55%にとどまり、投票した人の中から200人もの無効票が出てきている。子どもの頃から政治に関心を持つことを教育する国もある。知らなければ判断のしようがない。

編集・発行責任者
議長 鈴木 盛利
編集委員会
委員長 廣瀬 英一
副委員長 中野 目正治
委員 田崎 能信
" " 白石 正雄
鈴木 盛利